

令和2年度事業報告

公益財団法人調布ゆうあい福祉公社

目次

1	会社の現状	1
2	令和2年度の振り返り	1
(1)	法人運営	1
ア	健全な公社経営	1
イ	運営体制の強化・整備	2
ウ	施設改修の計画・準備	2
(2)	事業運営	2
ア	介護予防の取組	2
イ	地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の充実	2
ウ	認知症当事者と家族介護者支援の拡充	3
エ	医療介護連携の推進	3
オ	地域共生社会の推進	3
3	重点プロジェクト	4
(1)	ケースカンファレンス（事例検討会）の推進	4
(2)	だれでもカフェ（認知症カフェ）の充実	4
(3)	先駆的な家族介護者向け支援の創出	5
(4)	調査研究開発の推進	5
(5)	福祉人材の育成・発掘に向けた研修の充実	6
4	実施事業	7
(1)	住民参加を基盤としたインフォーマルサービスの拡充	7
ア	有償在宅福祉サービス事業	7
イ	生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」	11
ウ	在宅福祉サービスに関する相談事業	12
(2)	認知症施策の推進－認知症当事者とその家族への支援－	13
ア	認知症サポーター養成講座事業	13
イ	家族介護者支援事業	13
(3)	フォーマルサービスの充実	15
ア	調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業	15
イ	調布市地域包括支援センターゆうあい事業	17
ウ	軽度生活援助事業	23
(4)	介護保険事業（自主事業）による自立支援の推進	23
ア	訪問介護事業，障害者訪問介護事業	23
イ	居宅介護支援事業，介護保険要介護認定調査事業	25
ウ	デイサービスぷちぼあん事業	26

(5)	公益法人として先駆的な役割を果たすための事業の推進	28
ア	普及啓発事業	28
イ	人材育成事業	30
ウ	調査研究開発事業	32
(6)	健全な公社運営	33
ア	法人運営及び組織体制の強化・充実	33
イ	自主的, 自立的経営に向けた財政基盤の強化	35
5	その他の報告事項	36
(1)	役員等及び会議に関する事項	36
(2)	公社外部委員会等一覧表及び実習生受入実績	38
(3)	職員研修の実績	39
(4)	事業報告書附属明細書について	42

1 公社の現状

初めに、「コロナ禍」という、誰も経験の無い困難な状況下にあっても、公社は休むことなく事業継続ができたことをご報告するとともに、その任に尽力された方々には深く感謝いたします。

特に、住民参加型事業において、その担い手である協力会員、登録ボランティアの皆さんが、感染防止に留意しつつ、使命感を持ち、事業の継続に尽くされた姿勢には、深く敬意を表するものです。

現在もなお、新型コロナウイルス感染症が世界中にもたらした混乱は継続中で、終息の目途が立ってはおりません。ワクチン接種への期待はあるものの、ウイルスの変異といった不確定要素も発生しており、先行きは未だに不透明です。現下の状況を鑑みると、当面は、令和2年度と同様に、舵取りの大変に難しい時期が継続すると考えなければなりません。引き続き、利用会員、協力会員並びに職員の安全・安心に充分留意しつつ、健全な事業運営に努めていきます。

今般、公社の第2次中期計画を見直す作業の中で、①収支均衡は保っているものの、自主事業を含めた事業全般で実績に伸び悩みが見られる、②調布市が整備した福祉圏域を意識した体制づくりと他機関との連携、③新型コロナウイルス感染症対策の継続、の3点が現況において優先して取り組むべき課題として上がりました。令和3年度の事業計画は、それらを踏まえ作成をしています。

新型コロナウイルス感染症の状況に応じてではありますが、今後これらの課題解消に向けた取組を強化していきます。

2 令和2年度の振り返り

(1) 法人運営

ア 健全な公社経営

新型コロナウイルス感染症拡大の余波で、令和2年度は、公社の全ての活動が縮小、あるいは中止を余儀なくされました。

介護保険事業については、国の指導もあり、実施運営上の調整等はありませんでしたが、利用者等による利用自粛の影響が思いの外大きく、多くの事業で利用実績が前年度を下回りました。

自主事業の訪問介護事業、居宅介護支援事業並びに入間町地域密着型認知症デイサービスぷちぽあん事業の三事業も、感染予防で利用者が外出を控える、あるいは事業者等の訪問を拒否する等の事由もあり、稼働率（利用回数）は、前年度に比べ落ち込みました。収支の点においては、3事業全体として最終的に小幅な赤字となりました。特に、居宅介護支援事業では、主任介護支援専門員を確保する目的で、正規職員を一人配置し支出が増えたこともあり、収支の乖離は大きくなりました。しかしながらその結果、令和3年度は主任介護支援専門員の確保ができ、特定事業所加算の取得が見込めることとなり、自主三事業の収支の維持を強く支えるものと考えています。

イ 運営体制の強化・整備

近年、特に福祉業界においては、働き手の確保が大きな課題となっています。

公社においても、常勤非常勤を問わず職員の確保については、最優先に取り組むべき課題ですが、幸い、令和元年後半から令和2年度にかけての人材確保では、要望した職種の職員がほぼ採用できたので、令和3年度は正規職員については、人員体制を整えることができました。

令和2年度は特に、公社の将来の事業展開を見据え、理学療法士の資格を有する職員を採用した事と、既存の職員に専門研修を受講させ、主任介護支援専門員の資格を取得できた事は、大きな成果でした。

それにより、前者においては、調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業で、フレイル予防や総合事業通所型サービス（市基準）の拡充が可能になり、後者においては、特定事業所加算の取得が可能になりました。

一部に、非常勤職員の欠員補充ができていない部署もありますので、引き続き体制整備に取り組んでいきます。

また、公社の積年の課題として、「新たな協力会員の確保」がありますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防で、事業説明会や会員募集の集会など、不特定多数の人を集める事業を中止、あるいは縮小したので、解消は先送りとなりました。これについては、コロナ禍が沈静化した後に、取組を強化していきます。

ウ 施設改修の計画・準備

令和2年度は、積年の課題であった浴室等の施設改修が完了しました。改修工事の間、利用者の皆さんにはシャワー浴でご不便をお掛けいたしました。工事が完了した12月からは、従前と同様な入浴サービスを再開しています。

併せて、女性職員用の更衣室とトイレの改修・増設、並びに相談室の新設を行い、職場環境の整備等を行いました。

(2) 事業運営

ア 介護予防の取組

高齢期のフレイル予防とフレイル状態からの回復は、健康長寿のカギと言われています。公社では、総合事業通所型市基準サービス（市基準）を週3回開催しています。令和2年度は感染症対策として密を避けるため、実施時間を短縮し2部制として新たなサービス提供体制を構築しています。感染予防のため外出や運動の機会が減少し、身体や認知機能が衰えるリスクが心配される中、ますますその重要性が高まっています。施設に制約はありますが、引き続き調布市と連携し、事業展開の拡大を検討していきます。

また、社会との繋がりを持つことや、そのような活動を行うことは、フレイル予防にも有益であると言われています。公社の協力会員活動はその好事例になります。引き続き広く、市民の皆さんにその活動を紹介し、参加への呼び掛けを行っていきます。

イ 地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の充実

令和2年度は新たに協力会員になられた方は、20人でした。一方で、退会は

37人となり、減少傾向が続いている状況です。協力会員募集活動については、新たに募集チラシを作り、協力会員と協働して大規模集合住宅へポスティングしたほか、市内18か所の郵便局に協力会員募集広告を記載した封筒を配架するなど新たな取組も行いました。

協力会員研修・登録ボランティアでは、「コミュニケーションスキルアップ講習」等、援助技術の向上に関する研修のほか、協力会員の交流も兼ねた食事サービス・ホームヘルプサービス活動紹介を企画して、地域活動における見守りの重要性を学ぶ機会を取り入れました。

社会福祉士・看護師の資格取得を目指す、実習生の受入れは、受入人数の制限や一部オンライン実習とするなど感染防止に努めながらの実施となり、人数は3校、4人でした。介護職員初任者研修を始めとした講師派遣は、11件となりました。

また、介護職を対象とした介護技術勉強会（介護職カフェ）は、就業を終えた各介護事業所のスタッフが自発的に集まり、より良いサービス提供を模索する絶好の学びの場となっていますが、令和2年度は感染防止のため中止としました。

ウ 認知症当事者と家族介護者支援の拡充

認知症サポーター養成講座事業では、554人の受講者があり、平成29年度に事業を受託してからの累計者数は、4,771人になりました。受講者は例年に比べ減少しましたが、地域包括支援センターと連携して第三小学校、緑ヶ丘小学校で初めて開催する等、小中学校等での開催が定例化してきました。受講後のサポーターの支援としては、フォローアップ講座を2回開催して学びを深めました。その他、認知症サポーター活躍の場リストを配布しました。

ケアラーの支援については、ケアラー支援マップを更新して市内全戸に配布したほか、ケアラー支援団体を対象に「ケアラーの居場所を考える」等の学習会を開催して交流と学びを深めました。

だれでもカフェは、令和2年4月、5月、令和3年1月、2月は休止しましたが、人数制限、昼食提供の中止等、感染症対策を行ったうえで開催した結果、延べ85人の参加がありました。

介護技術講座は1回となりましたが、自宅での介護のコツとして、ベッドから車いすへの移乗方法など職員の説明を熱心に聞かれている様子が伺えました。

デイサービスでは、認知症の行動・心理症状（BPSD）の改善を目的として、「日本版BPSDケアプログラム」を導入しました。現場でのより良いケアの実践に取り組んでいます。

エ 医療介護連携の推進

市内福祉団体や職能団体、また、行政機関の会議に、委員や評議員として参画し、多職種が協働して構築する医療介護連携に努めました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、参画している様々な会議や委員会の多くが開催中止となりました。

オ 地域共生社会の推進

公社では、福祉講演会、協力会員と子育て世代の多世代交流となっている親子料理

講座の開催、「こくりょう子ども食堂わいわい」の運営支援に取り組んでいますが、いずれも新型コロナウイルス感染症により中止となりました。

福祉講演会のテーマ「家族介護、独りで悩まないで」は、ケアラー支援に関わる内容でもあるため、令和3年度にケアラー学習会として開催を予定しています。

また、「こくりょう子ども食堂わいわい」は、会食にあたるため年間を通して中止となりましたが、令和2年12月にレトルト食品、お菓子などをクリスマスプレゼントとして200人を超える小・中学生に配布しました。

3 重点プロジェクト

(1) ケースカンファレンス（事例検討会）の推進

	事業内容	目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	ケースカンファレンスの実施	月1回 公開研修1回	年8回 公開研修2回 外部連携2回
	ゆうあいチャレンジプログラム	1回 外部連携実施	1回 外部連携なし
評価等	○ケースカンファレンスの実施 住民参加・居宅介護支援・地域包括支援センターの相談職を中心に、延べ171人(職員以外16人含む)が参加しました。それぞれの経験、知識を広く共有することで、専門職の資質向上、自己研鑽及び相談対応力の向上につながりました。また、社会福祉士の資格取得を目指す学生の実習プログラムにも組み込み、学びの場を提供しました。		
	○ゆうあいチャレンジプログラム ケースカンファレンスの意義、相談援助職による倫理の確認、職員間の信頼関係の強化ワークを実施することで、職種を超えた連携、協力体制の強化につながりました。		

(2) だれでもカフェ（認知症カフェ）の充実

	事業内容	目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	だれでもカフェこくりょう	月1回 若年性認知症当事者含む	年8回 (延べ利用者85人)
	だれでもカフェぷちぼあん	不定期開催	緊急事態宣言の発令により中止

評価等	<p>○だれでもカフェこくりょう だれでもカフェは緊急事態宣言期間中（令和2年4・5月、令和3年1・2月）開催を中止したため、目標値は大きく下回りました。再開後も利用を控える方が多く見受けられました。休止期間中、今までの参加者に電話連絡をし、心身状態の確認や日常生活の困りごとなどを聞き取り、つながりを保つことに努めました。だれでもカフェ開催継続のための感染症対策、認知症当事者や家族介護者等への効果的な情報提供の仕方が課題です。</p> <p>○だれでもカフェぶちぼあん 緊急事態宣言の発令により中止しました。</p>
-----	--

（3）先駆的な家族介護者向け支援の創出

	事業内容	目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	家族介護者向け介護技術講座	① 家族介護者向け介護技術講座 2回 ② 家族介護者向け出張介護技術講座 随時	① 1回 ② 実績なし
	ホームヘルパー出張派遣	年6件	相談のみ4件
評価等	<p>○家族介護者向け介護技術講座 公社職員をモデルにし実演しながら、介護者に負担のかからないベッド上の介護方法や車いすへの移乗方法等のコツを伝えました。参加者同士の情報交換や、高齢者支援の施策に関する質疑応答を行いました。</p> <p>○家族介護者向け出張介護技術講座 地域の集まり等で呼び掛けを行いましたが、依頼がありませんでした。</p> <p>○ホームヘルパー出張派遣 令和元年度より事業化し、調布市高齢者支援室にもチラシの配架をお願いし、派遣を行っていました。令和2年度は電話による相談はありましたが、感染防止のため、派遣を行いませんでした。</p>		

（4）調査研究開発の推進

	事業内容	目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	事業提案	実効性の可否を検討	35件の提案があり、内12件の事業化を予定
	介護予防、フレイル予防調査 (実証研究調査)	データの集積・調査内容と方法について検討	継続的なデータ収集のため、定期的な体力測定データの収集

			と比較検証をするための外部ツールを利用したアンケート調査を年2回実施しました。集積したデータを取りまとめ、ホームページなどで、公開を予定しています。
評価等	概ね目標を達成し、推進が図れました。		

(5) 福祉人材の育成・発掘に向けた研修の充実

	事業内容	目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	各種研修の実施	①協力会員，登録ボランティア等への研修の充実 ②公社運営に携わるプロパー職員への研修の充実	① 参加者 141 人 ②全体研修「福祉サービス職員に必要な組織性の理解とコミュニケーション」 令和3年2月16日(火) 参加者 35 人
	介護職カフェ (介護技術勉強会)	4回以上	感染防止のため中止
	福祉専門職スキルアップ研修	2回以上	感染防止のため中止
評価等	<p>○介護職カフェ 例年，地域の事業所から参加があり，技術向上だけでなく，事業所間の交流や情報交換等ネットワーク形成の一助となっていました，今年度は感染防止のため全て中止としました。</p> <p>○福祉専門職スキルアップ研修 新型コロナウイルス感染症予防のため中止しました。今後は，市内に各種の職能団体が設立されたことで研修主体が移っているため，講師の派遣実績とします。</p> <p>○各種研修の実施 新型コロナウイルス感染症予防のため定員を減らして実施しました。協力会員定例研修を4回，食事サービスに関わる協力会員向けに安全運転，食品衛生講習会を実施しました。</p>		

4 実施事業

(1) 住民参加を基盤としたインフォーマルサービスの拡充 ア 有償在宅福祉サービス事業

第2次中期計画 目標・成果指標		目標値 令和2年度	実績
	利用会員数（世帯）	300 世帯	240 世帯
	協力会員数	310 人	266 人
	協力会員説明会（定期・随時）	35 回以上	26 回
評価等	<p>○利用会員数（世帯） 食事サービス、ホームヘルプサービスともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減少したため、目標値には届きませんでした。</p> <p>○協力会員数 食事サービス、ホームヘルプサービスともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け新規登録の減少や、年度更新に伴う退会や未活動会員の退会も重なり、目標には届きませんでした。</p> <p>○協力会員説明会（定期・随時） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、定期開催の説明会を中止したため目標には届きませんでした。</p>		

(a) 利用会員の状況

令和2年度末の登録世帯数は240世帯となり、目標としていた300世帯には届きませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、新規利用会員の登録を一時中止したことも大きく影響しました。ホームヘルプサービス、食事サービスはソーシャルワーカーが個々の利用会員のアセスメントを踏まえ必要性に応じ、密を回避しながら提供しました。また、ソーシャルワーカーが利用会員にこまめに連絡し、関係機関と連携しながら日常生活を支援しました。新型コロナウイルス感染症拡大で、人々の活動や行動が縮小し、「孤立化」を訴える高齢者が増えています。コロナ禍で変化した生活のなかで、新たに必要とされるニーズの発見に努め、市民相互の助け合い活動で支援していきます。感染防止に留意しながら引き続き、利用会員の生活を支援していきます。

(単位：世帯)

区分	令和2年度	入会・退会	増減	令和元年度
高齢者	226(94.1%)	(入会) 90 (退会) 128	△	264(93.0%)

障害者	6(2.5%)	(入会) 0 (退会) 6	△	12(4.2%)
病弱者	6(2.5%)	(入会) 2 (退会) 0	△	4(1.4%)
ひとり親家庭等	2(0.8%)	(入会) 0 (退会) 2	△	4(1.4%)
合 計	入会	—	92	—
	退会	—	136	—
	年度末世帯数	240(100.0%)	—	△
	会員数	295人	—	△
				284(100.0%)
				358人

(b) 協力会員の状況

令和2年度末の登録人数は266人で目標には届かず、担い手不足の状況が続いています。令和2年度は2度の緊急事態宣言の発令に伴い、協力会員の活動の意向を踏まえながら、ソーシャルワーカーが活動の休止や縮小の調整を行いました。そのなかで活動を中止する方も多くいました。

従前からの課題として、協力会員の居住地域や年齢層の分布に偏りがあります。助け合いが地域の隅々まで多世代にわたり展開できるよう、効果的な広報に努めていきます。また、地域の担い手として、大きな力として期待される元気な高齢者の方の参加促進に取り組んでいきます。

(令和2年度実績)

区 分	協力会員	月平均
入会者	20人	1.6人
退会者	37人	3.1人
令和2年3月末登録者数 (令和元年3月末)	266人 (283人)	—
月末登録者累計人数	3,106人	258.8人
活動者実数(各月合計)	1,443人	120.3人
ホームヘルプサービス	670人	55.8人
食事サービス	869人	72.4人
活動率(令和元年度活動率)	46.5%(51.8%)	

※ 活動者実数は、複数の活動に参加する会員もいるため、内訳の合計とは一致しない。

※ 活動率(%) = 活動者実数 ÷ 月末登録者累計人数

(c) ホームヘルプサービス

令和2年度は、延べ670人の協力会員が、延べ1,306世帯へ5,070時間のサービスを提供しました。昨年度に比べ提供時間は37%減少しました。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、室内で行う家事支援等のサービスは、ソーシャルワーカーがケースごとに協力会員、利用会員双方の意向確認を行い、ケアマネジャー等の関係機関、家族とコミュニケーションをとりながら休止、縮小の調整を図りました。サービス提供を見合わせる中でも、担当のソーシャルワーカーが利用会員に電話等で困りごとを聞き取り、代替サービスの紹介や他機関との連携に努め生活に支障が生じないように配慮しました。引き続き、会員双方のニーズに応えながら、地域の助け合い活動を広げていきます。

(対象者別利用時間数及び回数)

区 分		令和2年度		令和元年度		
		合 計	月平均	合 計	月平均	
利用者数		1,306世帯	108.8世帯	1,839世帯	153.3世帯	
利用回数		3,908回	325.7回	5,818回	484.8回	
高 齢 者	総 数		4,665.0時間	388.8時間	7,379.5時間	615.0時間
		単身	2,272.0時間	—	3,048.0時間	—
		夫婦	1,011.5時間		1,526.5時間	
		同居	1,381.5時間		2,805.0時間	
障害者		149.5時間	12.5時間	391.5時間	32.6時間	
病弱者		255.5時間	21.3時間	243.5時間	20.3時間	
ひとり親家庭等		0時間	0時間	45.0時間	3.8時間	
利用時間 計		5,070時間	422.5時間	8,059.0時間	671.6時間	

(d) 食事サービス

令和2年度は延べ869人の協力会員が38,595食を提供しました。昨年は新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い緊急事態宣言が2度発令され不要不急な外出が制限されました。食事サービス事業も協力会員の安全、健康を守るためサービスを縮小し、容器を使い捨てに変更しました。

会員配食は29,606食と、約15.6%減少しました。食数についてはサービスの縮小、レストラン食の中止、デイサービスへの提供食数も減少したことが食数減少への大きな要因となっています。

事業を担う協力会員も月平均72.4人の活動となり、感染防止のため、活動者を減らし、縮小体制にしました。通常容器から使い捨て容器に変更したことで調理場内の食器洗浄を行う洗浄の活動を休止しました。そのため活動者の実績は昨年度を下回る実績となりました。引き続き、事業を通して元気高齢者の活躍の場の提供、及び安心安全で美味しい食事を提供していきます。

食事サービス利用状況

区 分	令和2年度		令和元年度	
	延べ合計	月平均	延べ合計	月平均
会員利用者数	1,665人	138.8人	1,908人	159.0人
利用総食数	38,595食	3,216.3食	48,225食	4,018.8食
会員配食	29,606食	2,467.2食	35,072食	2,922.7食
国領通所	5,858食	488.2食	7,320食	610.0食
ぷちぼあん	2,174食	181.2食	2,162食	180.2食
その他	957食	79.8食	3,671食	305.9食

食事サービス週当たり利用日数／各年度3月利用者 (単位：世帯)

区 分		週1	週2	週3	週4	週5	週6	週7	合計
昼食	令和2年度	2	7	5	6	1	1	5	27
	令和元年度	2	8	7	2	4	2	6	31
夕食	令和2年度	12	18	14	9	5	5	14	77
	令和元年度	12	18	15	11	9	4	10	79
昼夕食	令和2年度	1	0	3	1	2	1	7	15
	令和元年度	1	0	3	0	4	2	13	23
合計	令和2年度	15	25	22	16	8	7	26	119
	令和元年度	15	26	25	13	17	8	29	133

食事サービス月当たり利用者区分／各年度3月利用者 (会員)

区 分		令和2年度		令和元年度	
		世帯数	人 数	世帯数	人 数
高齢者	単 身	61世帯	61人	64世帯	64人
	夫 婦	24世帯	34人	31世帯	48人
	同 居	26世帯	29人	30世帯	37人
障害者		3世帯	3人	3世帯	3人
病弱者		3世帯	3人	2世帯	2人
ひとり親家庭等		2世帯	3人	3世帯	5人
合 計		119世帯	133人	133世帯	159人

※各区分の人数は世帯員等の内3月食事サービス利用者

(e) 福祉施設へのサービス提供 (食事サービス)

入間町デイサービスぷちぼあん及び調布市国領高齢者在宅サービスセンター、子ども家庭支援センター「すこやか」の利用者へ継続的に食事サービスを提供しています。

(f) 会員交流事業

公社会員（利用・協力・賛助）を対象に、会員相互の交流を図る目的で、ボランティアグループ「パワーズ」をお招きし、南京たますだれなどを鑑賞しました。15人の方にご参加頂き、交流を深めることができました。

(g) 会員慶弔

利用会員の誕生日にご自宅を訪問し、ミニブーケを届けました。逝去に際しては、弔電で弔意を表しました。

イ 生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」

第2次中期 計画 目標・成果 指標	項目	目標値 令和2年度	実績
	利用件数	140件	88件
	登録ボランティア数	110人	120人
評価等	<p>○利用件数 例年より新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用件数が減っています。引き続き、活動できるボランティアの確保、事業の広報に努めていきます。</p> <p>○登録ボランティア数 目標値には達しましたが、いつでもどこでも活動できるボランティアを増やす取組が求められています。事業の趣旨、地域の助け合いを周知していきます。</p>		

ソーシャルワーカーが、ひとり暮らし高齢者などから、電球交換や荷物の上げ下ろし等のちょっとした困りごとを引き受け、登録ボランティアが解決しました。ソーシャルワーカーが関わることで、「ちょっとした困りごと」の解決と併せ、ひとり暮らし高齢者の孤立防止やソフトな見守り等の支援ができました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として利用者・ボランティアの双方の安全を確認するため、ソーシャルワーカーがボランティアに同行しながら実施しました。

本事業が、住民参加型で行われることで、地域社会のコミュニケーションの活性化の一助になると考えています。引き続き、困りごと解決のほか、見守りや市民の活躍の場の提供等、適切なコーディネート、情報提供に努めていきます。

事業名	実施内容	利用件数、参加者数等
生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」	30分程度でできる「ちょっとした」お手伝いをソーシャルワーカーが登録ボランティアをコーディネートして、困りごとを解決	相談件数：143件（うち新規：41件） 利用件数：88件（うち新規：26件） 登録ボランティア：120人 ※登録ボランティア説明会は、協力会員説明会と合同開催

ウ 在宅福祉サービスに関する相談事業

	実施内容	目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	受付窓口（電話，来所，訪問など）対応の充実	受付窓口担当の配置	受付窓口担当を配置
	休日，夜間の電話相談の受付体制（地域包括支援センター，居宅介護支援）	営業時間外の専門職による受付体制	営業時間外は専門職が携帯電話で受付
評価等	<p>○受付窓口（電話，来所，訪問など）対応の充実 時間帯により混雑する受付窓口を担当者を配置して，来所者の案内や利用者の誘導など適切に行いました。</p> <p>○休日，夜間の電話相談の受付体制（地域包括支援センター，居宅介護支援） 午後6時15分以降は携帯電話へ転送により受付（地域包括支援センター，居宅介護支援）と留守番電話による伝言受付（法人）により，適切に行いました。</p>		

高齢者を中心に，障害者，病弱者及びひとり親家庭等の総合相談の窓口として，在宅生活における介護などの様々な相談に応じました。また，地域の機関と連携しながら，公社の持つ情報やネットワークを駆使し，問題解決に向けた支援を行いました。365日対応することで，市民にいつでも相談できる安心感を与え，信頼を築くことができました。

医師及び弁護士による相談事業は，個人に限らず市内事業所の専門職等にも門戸を広げ，地域で福祉や介護サービスを担う人材へのサポートや資質向上に努めました。

事業名		令和2年度	令和元年度	備考
在宅福祉サービスに関する生活相談	電話	5,342件	9,300件	ソーシャルワーカー，看護師による相談
	来所	166件	854件	
	訪問	1,346件	3,299件	
	その他※	1,763件	2,137件	
	計	8,617件	15,590件	
医師による健康相談	内科	6件	5件	医師による相談
	精神科	6件	9件	
弁護士による法律相談		8件	7件	弁護士による相談
福祉用具などの相談，貸出，紹介		210件	234件	貸出件数
総合計		8,847件	15,845件	

※ 電話・来所・訪問の分類に入らない手段（事業利用時・メール等）での相談。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言が発令された，令和2年4・5月，令和3年1・2月は医師及び弁護士による相談事業は中止しました。

(2) 認知症施策の推進－認知症当事者とその家族への支援

ア 認知症サポーター養成講座事業

第2次中期計画 目標・成果指標	事業名	目標値 令和2年度	実績
	認知症サポーター数（年度）	1,000人以上	554人
	認知症サポーターフォローアップ研修	2回	2回（58人）
評価等	<p>○認知症サポーター数（年度） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で定員を制限し小規模開催にした結果、目標値のサポーターを養成できませんでした。令和2年度、新たに第三小学校、緑ヶ丘小学校で本講座を実施しました。</p> <p>○認知症サポーターフォローアップ研修 本講座の復習、地域見守り訓練や認知症の人を介護する家族への理解を深める講演会などを通じて、認知症の問題を我が事としてとらえることができ、地域での見守りや認知症高齢者への声掛けなどにつながるきっかけになりました。</p>		

認知症になっても、安心して暮らし続けられるまちを目指して、地域の自治会や企業、学校など幅広い世代に向け、本講座を開催し、認知症の方やその家族の応援者となる認知症サポーターの養成に努めました。

併せて、認知症サポーターとなった方々に「活躍の場」を情報提供するために、「認知症サポーターの活躍の場リスト」を年1回最新の情報に更新・作成し、受講後のサポーターに配布しました。

事業名及び内容		回数	参加者数
認知症サポーター養成講座	地域で開催される認知症サポーター養成講座の実施、キャラバンメイトの調整・派遣	13回	554人
認知症サポーターフォローアップ研修	認知症当事者、ケアラーの理解を深めるための講義・体験	2回	58人
認知症サポーターの活躍の場リスト	認知症サポーターの活躍の場の情報を更新・発行し市内全戸配布	1回	—

イ 家族介護者支援事業

家族介護者にとって安心できる居場所の提供や、市内にある「家族介護者の居場所」等の情報提供、また、自宅で介護している家族に有効な介護技術の講習会を開催することで、家族介護者を支援しました。

介護している家族の方が一息つける居場所を提供するため、「だれでもカフェ」を月1回定期的に開催していましたが、令和2年4・5月、令和3年1・2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言の発令により開催を中止しました。家族介護者向けの介護技術講座は年1回開催しました。市内の家族介護者の居場所の情報を発信する「ケアラー支援マップ」は最新の情報に更新し、市内全戸に配布しました。家族介護者向けの介護技術講座は1回開催しました。

今年度はケアラー学習会を3回開催し、ケアラー支援の理解を深めました。参加者はケアラー団体、関係機関のほか、市民の方々の参加も増えてきています。

	事業名	目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	だれでもカフェ	220人	85人
	認知症高齢者等を介護するケアラー（介護者）支援マップ	更新・発行	1回更新・発行
	家族介護者向け介護技術講座	15人（出張介護技術講座含む）	4人
評価等	<p>だれでもカフェは緊急事態宣言期間中（令和2年4・5月、令和3年1・2月）開催を中止したため目標値は大きく下回りました。再開後も利用を控える方が多く見受けられました。休止期間中、今までの参加者に電話連絡をし、心身状態の確認や日常生活の困りごとなどを聞き取り、つながりを保つことに努めました。密にならない環境等の整備や、参加者、ボランティアの感染防止策を徹底し、家族介護者が気軽に相談できるよう開催を継続していきます。認知症当事者や家族介護者等の必要とする方に情報が届くよう、より効果的な広報も課題です。</p> <p>家族介護者向け介護技術講座は参加者一人ひとりの困りごとに沿いながら実施できました。</p>		

事業名	実施回数	参加者数	備考
家族介護者支援事業	月1回 (計8回) 令和2年4月、5月、 令和3年1月、2月中止	参加者 延べ85人	○だれでもカフェこくりょう(毎月第4日曜日)※10の筋力トレーニング、ハンドベル、男性介護者のつどい等 ○だれでもカフェぷちぼあん (緊急事態宣言の発令により今年度中止)

	調布市認知症高齢者等を介護するケアラー支援マップの改訂	年1回	発行125,000部 (内123,000部を市内全域にポスティング, 2,000部を関係機関に配架等)	令和2年7月20日広報紙ゆうあい20号にて第9版を掲載。ケアラーを支えるグループ16件(新規2件), 相談窓口, 地域密着型サービス, 研修会等の情報を掲載
	家族介護者向け介護技術講座	年1回	4人	「知って安心, 自宅での介護のコツ」 だれでもカフェこくりよう開催時に実施 令和2年8月23日(日) 参加者4人
	ケアラーを支えるグループの学習会	年3回	35人	①講義「伝える」から「伝わる」コミュニケーションへ②当事者事例紹介「看取りの介護体験を聴いてみよう」③ケアラー団体事例紹介「ケアラーの居場所を考える」
	ホームヘルパー出張派遣	年6件	相談件数4件 実施件数0件 訪問延件数0件	令和2年度は電話による相談はありましたが, 感染防止のため, 派遣を行いませんでした。

(3) フォーマルサービスの充実

ア 調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業

第2次中期計画 目標・成果指標		目標値 令和2年度	実績
	延べ利用者数		9,380人
延べボランティア数		840人	296人
評価等	<p>○延べ利用者数 利用者数においては, 継続的に新規利用者を受入れていましたが, 入院・入所や感染症対策で長期休みをされる利用者も多く, 目標を下回りました。</p> <p>○延べボランティア数 ボランティアについては, 緊急事態宣言時中はボランティア活動自粛を要請したため, 目標値を大きく下回っています。</p>		

令和2年度は感染症対策を強化して継続的にサービス提供を行いました。
利用者の個々の状況については, 職員間で情報共有し, 関係機関とも連携を図りま

した。特に医療機関と密に連携を取り、看取りの利用者を受入れるなど、他事業所で受け入れることが難しい利用者や家族へ迅速丁寧な対応ができました。

令和2年度の利用延べ人数は7,125人で、目標値より2,255人の不足となりました。新規利用者の受け入れは継続的に実施していましたが、新型コロナウイルス感染症対策や浴室改修工事のため新規利用者の受け入れが伸び悩み、目標を下回りました。

総合事業通所型サービス（市基準）については、新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるため、実施時間を短縮し2部制として新たなサービス提供体制を構築しています。引き続き、市と連携して積極的な事業展開を進めていきます。

通所介護では、個別機能訓練加算Ⅰの取得から3年経過し、利用者の身体の状態に合わせて継続した身体機能の維持・改善や向上を図ることができました。今年度は新たに理学療法士を1名採用し、機能訓練指導員の人員体制の強化を図りました。

令和3年度に向けて個別機能訓練のプログラムの見直し等を進めていきます。

認知症対応型通所介護では、認知症の行動・心理症状（BPSD）の改善が期待される「日本版BPSDケアプログラム」を導入し、より良い利用者のケアに繋がるよう現場での実践に取り組みました。引き続きケアプログラムを活用しながら、介護度や認知面の変化に合わせて利用者の個別ケア強化を進めていきます。

区 分		令和2年度	令和元年度
通所介護	延べ人数	3,817人	4,378人
	1日平均	12.4人	14.1人
総合事業（国基準）	延べ人数	444人	1,072人
	1日平均	1.44人	3.46人
総合事業（市基準）	延べ人数	1,315人	1,287人
	1日平均	9.12人	9.12人
認知症対応型通所介護	延べ人数	1,549人	1,824人
	1日平均	5.02人	5.90人

(a) 運営推進会議

情報の公開及び地域との連携・交流を確保し、サービスの質の確保・向上を図るため、利用者の家族や地域住民の代表者、サービスに知見を有する方に委員として参加していただきました。第2回運営推進会議は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令されていたため、感染症予防に伴い、書面開催としました。

開催日
令和2年9月14日
令和3年2月15日（書面開催）

(b) 家族会

感染症予防対策を講じ、参加者の協力を得て開催しました。具体的な相談内容に対して、介護の成功体験を交えた実践方法を介護者へ伝えたり、介護者同士が安心して気持ちを吐露できる場を提供することができました。介護の共通の課題や認知症の症状からくる生活の大変さを共有することができました。令和2年度は9月と2月に開催予定でしたが2月は新型コロナウイルス感染症拡散防止のため中止としました。9月の開催では7人の参加がありました。

開催日	参加者数
令和2年9月14日(月)	7人

(c) 地域福祉交流育成

令和2年度は、感染症予防に伴い、ボランティア活動の自粛を要請したため、目標値を大きく下回りました。

中学生職場体験や教員免許法における介護等体験事業についても、各実施団体より見合わせの通知があり、今年度の実績はありません。

今後は感染症予防を行なった中で、受入れを検討し、地域とのつながりに向け、発信していきます。

区 分		令和2年度	令和元年度
ボランティア受入れ	個人	延べ284人	延べ433人
	団体(人数)	9団体(12人)	43団体(250人)
ボランティア交流会	実施回数	0回	0回
	参加者数	延べ0人	延べ0人
職場体験受入れ	受入者数	0人	2人
	期間	0日間	5日間

イ 調布市地域包括支援センターゆうあい事業

		目標値 令和2年度	実績
第2次中期 計画 目標・成果 指標	介護予防関連事業 参加者数(出張説明 会, 介護教室)	140人	延べ参加者 144人 ●介護教室(2日間) ・9月1日(火) 「知って活かそう暮らしの知識～バランスの良い食事で健康寿命を延ばそう～」参加者17名 ・9月3日(木) 「知って活かそう暮らしの知識～知って得するおくすり講座～」参加者16名

			<p>●出前講座</p> <p>○10の筋力トレーニング体験会及び継続支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月29日(水) 調布ゆうあい福祉公社協力会員(5名) ・9月1日(火) サロンドわきあいあい(8名) ・9月19日(土) マンション国領住民(10名) ・10月12日(月)28日(水) ひだまりサロン代表者向け(13名) ・11月5日(木)12日(木)19日(木) マンション国領住民(20名) <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月19日(土) 「薬のお話(ミニ講座)」(10名) ・10月2日(金) 「みまもりさん養成講座」(11名) ・10月17日(土) 「口の中の健康を維持しよう」(10名) ・10月27日(火) 「金子の里活動再開支援」(14名) ・11月21日(土) 「終活について考えてみよう」(10名)
	<p>地域ケア会議参加者延べ人数</p>	<p>90人</p>	<p>延べ参加者70人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 8月3日(月) 「誰もが安心して住み続けられる見守りによる地域づくり」(37名) ・第2回 11月10日(火) 「かかりつけ医について考える」(21名) ・第3回 1月15日(金)

			※緊急事態宣言の継続により、 書面形式での開催となった 「消費者被害と対策について」 (12名)
	みまもっとPR 活動件数	300件	272件
評価等	<p>コロナ禍で参集，対面式での開催については時期，環境を見ながら実施してきました。PR訪問以外の普及啓発、福祉啓蒙の目安となる目標値は、概ね達成となりました。出前講座は、コロナ禍で地域の見守り体制、医療との連携，自助でできる詐欺被害防止など外との交流が少ない中で課題となる内容をテーマに設定し開催いたしました。第3回目の地域ケア会議においては、対面ではなく、書面方式にて開催を試みました。コロナ収束後も普及啓発、福祉啓蒙のやり方については、地域の実情に合わせて、検討してまいります。みまもっとPR活動については、行事の中止などで目的数値に対しては未達成ですが、効果的、効率的なネットワークづくりをテーマに、発信する媒体（みまもっと便り，フレイル予防，脳梗塞等の注意喚起ちらしなど）を工夫しPRに行く等の工夫をいたしました。</p>		

調布市内の高齢者人口の最多地区を担当し，地域のセーフティネット，また，地域包括ケアを支える拠点として，高齢者や障害を持つ方々が地域で安心して暮らせるように，数多くの相談を受けるとともに，医療や介護などの関係機関と密な連携を図りました。とりわけ，コロナ禍の引きこもり，不活発な状況に対して，地域の団体や自治会等へ地域活動の再開に向けての支援，継続に向けての支援を実施いたしました。また，対面式では会議開催が難しいと捉えた学習会，会議についてはオンライン（ZOOMを活用した開催），書面（アンケート形式）などの手段を積極的に取り入れ，事業継続ができるよう工夫をしました。

地域ケア会議では，コロナ禍であるから出てくる課題に注視しテーマを設定して開催いたしました。

(a) 総合相談事業

区分	令和2年度	令和元年度
相談件数	6956件	7,411件
実態把握人数	845件	1,176件

(b) 地域ネットワーク

区分		実施日・回数等	参加者数
地域ケア会議	「誰もが安心して住み続けられる見守りによる地域づくり」	令和2年8月3日(月)	37人

	「かかりつけ医について考える」	令和2年11月10日(火)	21人
	「消費者被害と対応について」	令和3年1月15日(水) ※中止し、書面開催となる	12人
広報協力員 研修，連絡 調整会	施設見学 「しばさき彩ステーション」	令和2年9月16日(水)	7人
	PR訪問 市の世帯状況調査で訪問を希望した高齢者に広報協力員が訪問し，市の施策や事業等の紹介	新規訪問 1回 ※電話、書類送付	17世帯 22人
		継続訪問 1回 ※電話、書類送付	7世帯 11人
	民生児童委員と広報協力員連絡会	令和2年8月24日(月)	17人
認知症サポーター養成講座の開催	公社協力会員(市民)	令和2年6月30日(火)	7人
	市民	令和2年11月19日(木)	17人
認知症総合支援事業	認知症地域支援推進員がみまもっと担当と共に，地域の医療機関や児童館などに向けて，認知症ケアパスや認知症理解を促進するチラシを配布する等のPRを実施しました。総合相談の中でも認知症の相談は家族や近い人からの相談が増えています。相談の中では認知症ケアパスの活用に努めました。また地域への認知症対応の普及啓発(認知症サポーター養成講座)に努めました。		
在宅医療・介護連携推進事業	医療連携の推進については，ICTの活用推進，医療機関の特徴等についての適切な把握，相談窓口の活用について推進しました。ちょうふ医療相談室と連絡会を開催し，大学病院・地域のクリニック・訪問診療等各々の医療機関における医療連携の実情を共有しました。		

(c) 介護支援

	区 分	実施日・回数等	参加者数
介護教室	「知って活かそう暮らしの知識～バランスの良い食事で健康寿命を延ばそう」	令和2年9月1日(火)	17人
	「知って活かそう暮らしの知識～知って得するお薬講座～」	令和2年9月3日(木)	16人

家族介護者の支援	ケアラーマップの配付等を通じて家族の方へ個別の支援を実施
----------	------------------------------

(d) 権利擁護

区 分	令和2年	令和元年
虐待予防相談	131件	123件
成年後見制度の活用推進，消費者被害の防止等の相談	132件	82件

(e) ケアマネジメント支援

区 分	内 容		
ケアマネジャー支援	適正なケアプラン作成のための支援： 65件		
地域連絡会ケアマネットの開催	「多世帯を見渡せるケアマネジメント力を身につけよう」	令和2年10月13日(火)	30人
	「ケアマネジャーが身につけておきたいターミナル期の連携」	令和3年3月17日(水)	38人
	事例検討会（勉強会）	① 7月21日(火) ② 9月15日(火) ③ 12月15日(火)	①16人 ②16人 ③17人

(f) 介護予防マネジメント

高齢者等が現況の身体状況を維持し、安心して在宅生活の継続ができるように、自立支援を目指した介護予防支援及び介護予防マネジメントによる支援を行いました。

区 分	令和2年度	令和元年度
介護予防ケアプラン作成件数	2,197件	2,091件
介護予防ケアプラン委託件数	839件	1,033件

(g) 見守りネットワーク事業

地域での事業協力者を拡大するため、地域団体への説明会や、地域住民への広報活動を行いました。また、公社のホームページや広報紙ゆうあい・みまも

っと便りを活用し、地域住民への周知を図りました。

区 分	令和2年度	令和元年度
通報件数	60件	65件
PR件数	300件	235件

(h) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

区分	内容
包括的・継続的ケアマネジメント支援	高齢の方々が住み慣れた地域で自立して生活できるよう必要な援助, 支援を行うために関係機関との連絡調整を実施しました。関係機関との連携においては、広報協力員や民生・児童委員との連絡会の実施、地域ケア会議や関係者会議等へ地域の介護事業所等へ参加の促しを行いました。

(i) 一般施策判定業務

区 分	令和2年度	令和元年度
判定数	284件	311件

(j) 出前講座

区 分	実施日・回数等	参加者数
調布ゆうあい福祉公社協力会員「10の筋力トレーニング体験会」	令和2年7月29日(水)	5人
サロンどわきあいあい「10の筋力トレーニング体験会」	令和2年9月1日(火)	8人
マンション国領住民 「10の筋力トレーニング体験会」 「薬のお話(ミニ講座)」	令和2年9月19日(土)	10人
市民 「みまもりさん養成講座」	令和2年10月2日(金)	11人
ひだまりサロン代表者 「10の筋力トレーニング体験会」	①令和2年10月12日(月) ②令和2年10月28日(水)	①5人 ②8人
マンション国領住民 「口の中の健康を維持しよう」	令和2年10月17日(土)	10人
金子の里(ひだまりサロン) 「金子の里活動再開支援」	令和2年10月27日(火)	14人

マンション国領住民 「10の筋力トレーニング体験会及び継続支援」	① 令和2年11月5日(木) ② 令和2年11月12日(木) ③ 令和2年11月19日(木)	① 9人 ② 5人 ③ 6人
マンション国領住民 「終活について考えよう」	令和2年11月21日(土)	10人

(k) 介護保険要介護認定調査

区 分	令和2年度	令和元年度
認定調査件数	12件	17件

ウ 軽度生活援助事業

第2次中期 計画 目標・成果 指標	目標値 令和2年度		実績
	延べ利用時間数	206時間	
延べ利用者数	36人	24人	
評価	介護保険制度だけでは対応できないケースに対する支援体制の維持は必要であるため継続していきます。		

介護保険サービスにおける支給限度額内のサービスだけでは支援体制を構築できないケースや、本人の認知機能症状で介護保険サービスの受入れができないケースに介入し、継続的な支援を実施しました。令和2年度は延べ利用者は目標に届かないものの、サービス提供延べ時間数はほぼ目標の数値となりました。

区 分	利用者延べ数	サービス提供 延べ時間数	サービス提供 延べ回数	
見守り事業	令和2年度	24人	206時間	206回
	令和元年度	28人	229時間	189回

(4) 介護保険事業（自主事業）による自立支援の推進

ア 訪問介護事業，障害者訪問介護事業

第2次中期計画 目標・成果 指標	目標値 令和2年度		実績
	延べ利用時間数	15,100時間	
介護職カフェ（介護技術勉強会） 開催回数（再掲）	4回以上	0回	
評価等	・延べ利用時間数 退職者の補充ができず、目標値には至らない状況となりました。今後、新		

	<p>たな雇用形態の創出を行い、職員の確保を積極的に行っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職カフェ <p>感染防止のため中止としました。</p>
--	---

(a) 訪問介護事業

安定した事業運営を目指し、月次での収支状況の確認を行い、法人内で情報共有するとともに、日常業務の見直しを行い効率化を図りました。また、調布市福祉人材育成センターで実施されている介護職員初任者研修、重度訪問介護員研修講師派遣等を通じ、福祉人材の育成と地域への還元の一助を担いました。令和2年度は感染防止のため高齢者家事援助ヘルパー養成研修、介護職カフェは開催中止となりました。

区分	利用者数（上：延べ人数，下：％）							訪問時間数 訪問回数	
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	
令和2年度	110	193	216	209	119	53	117	1,017	8,399時間
	10.8	19.0	21.2	20.6	11.7	5.2	11.5	100.0	10,953回
令和元年度	114	248	202	212	89	92	128	1,085	9,938時間
	10.5	22.9	18.6	19.5	8.2	8.5	11.8	100.0	12,906回

(b) 障害者訪問介護事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、居宅介護・重度訪問介護の対象者が、地域で安心して自立した在宅生活を継続できるように、サービス提供に努めました。

区分	利用者数	サービス提供時間数	サービス提供回数
令和2年度	303人	3,005時間	2,159回
令和元年度	331人	3,132時間	2,315回

(c) 定期研修

区分	回数	参加者数
定期研修	年10回	延べ149人

(d) 介護職カフェ（介護技術勉強会）

区分	実施日	参加者数
介護職カフェ（介護技術勉強会）（再掲）	感染防止のため中止	—

イ 居宅介護支援事業，介護保険要介護認定調査事業

第2次中期 計画 目標・成 果指標		目標値 令和2年度	実績
	ケアプラン作成数	1,490件	1,451件 ① 介護 延べ1403件 ② 予防 延べ48件
福祉専門職スキル アップ研修（再掲）	2回以上	新型コロナウイルス感染症 流行に伴い中止しました。	
評価等	○ケアプラン作成数 事業所の新型コロナウイルス感染症対策や介護サービス事業所 での新型コロナウイルス感染症発生に伴い，サービス調整が多 くなり，新規契約の対応が積極的に取得できず目標数値を達成でき ませんでした。		

(a) 居宅介護支援事業

利用者が，住み慣れた地域でその方の望む生活を実現し，可能な限り継続が
できるように，適切なアセスメントと課題分析を行うとともに，公的制度や地域の
社会資源を活用したケアマネジメントを行いました。今後の経営安定化を目指し，
今年度に事業所職員体制を1名常勤化し，主任介護支援専門員の育成が図れまし
た。

(上：延べ利用者数，下：%)

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和2年度	22	26	396	537	237	118	115	1,451
	1.5	1.8	27.4	37.0	16.3	8.1	7.9	100.0
令和元年度	35	30	496	437	241	133	92	1,464
	2.4	2.0	33.9	29.8	16.5	9.1	6.3	100.0

(b) 介護保険要介護認定調査事業

調布市の介護保険制度運営のため，介護保険法に基づく要介護認定調査を行
いました。

区分	令和2年度	令和元年度
認定調査件数	3件	29件

(c) 福祉専門職スキルアップ研修

区分	実施日・回数等	参加者数
① 介護技術勉強会	中止	—
② ケアマネカフェ	中止	—
③ ちょうふ高齢者応援大会	中止	—

ウ デイサービスぷちぼあん事業

		目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	延べ利用者数	2,670人 (稼働率86.5%)	2,148人 (稼働率69.6%)
	地域開放支援事業	23回	0回
	家族会開催回数	2回	1回
評価等	<p>年度当初より新型コロナウイルス感染症の影響を受け、通所利用への不安や自粛、職員や施設も感染防止対策に迫られた年度となりました。担当者会議も書面での照会が中心で接触を控えるような状況でした。感染症への対策も進めるなかで、定員に近い利用者を受け入れることへの不安（密接、密集）もあり、加えて冬季の利用者の体調不良による入院や施設入所が相次いだこともあり、目標には到達しない実績となりました。</p>		

新型コロナウイルス感染症が流行するなか、通所介護事業所として事業を継続していくことを検討し続けた一年となりました。関係各所からは感染症についての情報提供のみならず、感染対策物資（マスクや消毒液など）のバックアップもあり、事業継続ができました。利用者やご家族のご協力（検温、マスク、体調確認など）も得られたことも事業継続出来た大きな要因でした。職員自身も家族を含めた体調管理、感染源にならない様に努め（PCR検査にも積極的に協力）しました。利用者の体調不良による入院や施設入所などで稼働率は安定していませんが、今後も認知症になっても安心して地域生活ができるよう支援していきます。その他、感染症予防に伴い、施設内に集まるイベントやボランティアの協力、家族会や運営推進委員会なども制約を受ける状況でした。認知症に伴う周辺症状（BPSD）へのアプローチ（DEMBASE）についても実践を続けながら、専門的なケアを目指して取り組んでいきます。

(a) デイサービスぷちぼあん事業

区分		令和2年度	令和元年度
認知症対応型通所介護	延べ人数	2,148人	2,162人
	1日平均	8.3人	8.4人
介護予防認知症対応型通所介護	延べ人数	0人	0人
	1日平均	0人	0人

(b) 運営推進会議

情報の公開及び地域との連携・交流を確保し、サービスの質の確保・向上を図るため、利用者の家族や地域住民の代表者、サービスに知見を有する方に委員として参加頂きました。感染症予防に伴い、2回目は書面開催としました。

開催日
令和2年6月15日
令和3年1月28日（書面開催）

(c) ぷちぽあん事業運営協議会

感染症予防にて、ぷちぽあん祭りは中止とせざるを得ず、それに伴い運営協議会についても開催には至りませんでした。ぷちぽあん祭りについては、形態も含めて開催の可否を検討し、また、運営協議会についても会の在り方を検討し、運営推進会議への統合を提案（協議）していきます。

開催日
開催なし

(d) 家族会

令和元年度実施した「家族会アンケート」での要望も受け、今年度はご家族の参加者状況も確認しながらの開催となりました（密接，密集回避）。第1回の家族会ではこれまで参加されなかった方も来られ、有意義な会となりました。

年2回を予定していましたが、緊急事態宣言が延長されたこと等も考慮し、2回目の家族会は中止としました。

開催日	参加者数
令和2年10月19日	3人

(e) 地域開放支援事業

地域開放支援事業では、ひだまりサロンや自治会への施設貸出を予定しました。

区分		令和2年度	令和元年度
ボランティア受入れ	活動者数	延べ212人	延べ324人
	実施回数	0回	9回
ひだまりサロン実施支援	参加者数	0人	延べ92人
	実施回数	0回	0回
地域交流会支援	参加者数	0人	0人
	貸出回数	0回	7回
施設貸出	参加者数	0人	延べ46人
	貸出回数	0回	16回
施設開放	参加者数	0人	延べ138人

(5) 公益法人として先駆的な役割を果たすための事業の推進

ア 普及啓発事業

		目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	福祉講演会の参加者率	会場定員90%以上	感染防止のため中止
	協力会員・登録ボランティア説明会 延べ参加者数	60人	36人
	出張説明会	12回	6回
評価等	<p>○福祉講演会 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令により、開催中止としました。</p> <p>○協力会員・登録ボランティア説明会延べ参加人数 26回各地域に出張等し、開催しましたが、延べ参加者数は達成できませんでした。</p> <p>○出張説明会 多摩川住宅自治会や西部公民館のシニア講座に出張しましたが、新型コロナウイルスの感染症拡大により、目標回数は達成できませんでした。</p>		

協力会員や登録ボランティアを拡大するため、市内の地域福祉センターに出張して協力会員募集説明会を開催し、普及啓発に努めました。また、今年度初めての試みとして、郵便局封筒に協力会員募集案内を掲載し担い手の募集に努めました。

住民参加型サービスの活用促進のため、広報紙「ゆうあい」では住民参加型サービスの特集を組んで全戸配布し、ひだまりサロン、自治会、公民館等へは出張して住民参加型事業の普及啓発に努めました。

今年度は新型コロナウイルスの感染症拡大による事業規模縮小に伴い、目標回数・目標参加人数の達成ができないものが多くありました。そのため、非対面でも市民・会員の方々と繋がるためのフェイスブックを開設、ZOOMを活用して協力会員サロンやケアラー学習会を開催するなど新しい取り組みも行いました。

事業名	実施回数	参加者数	備考
福祉講演会	年1回	中止	講演会テーマ「家族介護、独りで悩まないで～孤立しない地域を作るために～」 感染防止のため中止
広報	年6回	—	2,500部/回

	広報紙「ゆうあい」	年2回	—	13万部／回 (内12万8,000部を市内全域にポスティング, 2,000部を関係機関に配架等)
	ホームページ	随時更新	—	イベント情報を随時更新
出張説明会		年6回	51人	ひだまりサロン, 自治会, 公民館等
協力会員・登録ボランティア説明会		年26回	延べ36人	「ちょこっとさん」登録ボランティア説明会と共催
生きがい介護予防講座	男性のための料理講座	年1回	延べ33人	5日コース
	フォークダンス講座	年1回	中止	4日コース
介護予防社会参加事業	「だいこんの会」	月1回	—	生きがい介護予防講座修了者の自主グループ
	ゆうあいフォークダンス友の会「フレンズ」「すみれ」	各月3回	—	
調布市食事サービス連絡会	市内配食事業者との連絡会において, 情報・課題の共有, 課題解決への検討	年1回	6事業者より返答	令和3年度はアンケート形式で実施。「コロナ禍での配食サービス」について
家族介護者支援事業(再掲)	だれでもカフェ(認知症カフェ)	月1回 (計8回) 令和2年4月, 5月, 令和3年1月, 2月中止	参加者延べ85人	○だれでもカフェこくりょう(毎月第4日曜日) ※10の筋力トレーニング, ハンドベル, 男性介護者のつどい等 ○だれでもカフェぷちぼあん (緊急事態宣言の発令により今年度中止)

	調布市認知症高齢者等を介護するケアラー支援マップの改訂 ※広報に再掲	年1回	発行12万5,000部(内12万3,000部を市内全域にポスティング, 2,000部を関係機関に配架等)	令和2年7月20日広報紙ゆうあい19号にて第9版を掲載。ケアラーの集い場16件(新規2件), 相談窓口, 地域密着型サービス, 研修会等の情報を掲載
	家族介護者向け介護技術講座	年1回	4人	「知って安心, 自宅での介護のコツ」 だれでもカフェこくりよう開催時実施 令和2年8月23日(日) 参加者4人
認知症サポーター養成講座(再掲)	認知症サポーター養成講座	13回	554人	地域で開催される認知症サポーター養成講座の実施, キャラバンメイトの調整・派遣
	認知症サポーターフォローアップ研修	2回	58人	地域見守り訓練の実施, 認知症の人を介護する家族への理解を深める講演会
	認知症サポーターの活躍の場リスト	1回	—	認知症サポーター活躍の場の情報を更新・発行し市内全戸配付

イ 人材育成事業

		目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	協力会員研修延べ参加人数(市民公開講座に参加した市民を含む)	250人	140人
	ゆうあい福祉セミナーの参加人数	10人	感染防止のため中止
	介護職カフェ(介護技術勉強会), 及び福祉専門職スキルアップ研修の延べ参加人数(再掲)	90人	感染防止のため中止
評価等	<p>○協力会員研修延べ参加人数(市民公開講座に参加した市民を含む) 参加人数が減少傾向にありました。様々なニーズに応じることができるよう各種研修の充実に努めていきます。</p> <p>○ゆうあい福祉セミナーの参加人数 2月に開催を予定していましたが, 新型コロナウイルス感染症防止の観点から, 開催を中止しました。</p> <p>○介護職カフェ</p>		

	感染症予防に伴い中止としました。
--	------------------

公社の理念である「市民相互の助け合い」と「自立支援のための質の高いサービスの提供を通じてあたたかい地域づくり」を推進するために、介護の担い手や協力会員及びボランティアの育成、並びに専門資格の取得を目指す実習生の受入れや各種講座・研修等の開催など、様々な「学びの場」を提供し、介護や地域福祉の担い手となる人材育成に努めました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、例年通りに実習機関として外部から実習生を受入れられませんでした。本事業において、住民参加型在宅福祉サービス事業と地域包括支援センターの事業を併せ持つ公社は、介護保険事業について総合的に学べる法人として、医療、福祉及び教育など裾野の広い分野における育成・実習機関となっています。また、地域においては、各種の講習会・勉強会等に、公社の職員を講師として派遣するなど福祉サービス向上に貢献しています。

事業名及び内容		実施日又は回数	参加者数		
ゆうあい福祉セミナー	親子で作る！「飾り巻き寿司」～楽しく始めよう親子で食育～ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	感染防止のため中止	—		
実習生の受入れ	大学，専門学校等から社会福祉援助技術や教員免許取得等の実習	53日（延べ日数）	11人		
福祉専門職講師派遣	地域の福祉人材育成を支援するため公社職員を派遣	11回	—		
協力会員研修・登録ボランティア研修	定例会	協力会員の交流を深めるとともに地域づくりの一員としての役割を学ぶ	年4回	延べ38人	
	基礎研修	協力会員登録時に活動のための基礎を学ぶ	年21回	延べ21人	
	食事サービス	新人研修	調理実地研修	8日コース	1人
			配達実地研修	4日コース	6人
	スキルアップ研修	食品衛生講習	1回	28人	
	調理実	感染防止のため中止	—		

			習		
			安全運 転講習	1回	42人
	ホームヘ ルプサー ビス	スキルアップ 研修	車いす の介助 方法の 講習	1回	5人
介護予防サロン		高齢者でも参 加できる社会 参加の機会提 供, 介護予防・ 地域づくりに 向けた支援	グリー ンクラ ブ	月2回	延べ43人
			ゆうあ いネッ ト倶楽 部	週1回	延べ82人
			おなか まクラ ブ	月1回	延べ18人
認知症サポーター 養成講座事業（再 掲）		認知症サポーター養成 講座		13回	554人
		認知症サポーターフォ ローアップ研修		2回	58人
		認知症サポーターの活 躍の場リスト		1回	更新・発行
介護職カフェ（介護 技術勉強会）（再掲）		感染防止のため中止		—	—
福祉専門職スキル アップ研修（再掲）		介護技術勉強会		感染防止のため中止	—
		ケアマネカフェ		感染防止のため中止	—

ウ 調査研究開発事業

第2次中期 計画 目標・成果 指標		目標値 令和2年度	実績
	実践活動報告数	6回	新型コロナウイルス感染症流行に伴い報告機会がありませんでした。 ※公社で実施しているフレイ

			ル予防の取組と、体力測定の結果をホームページで公開の予定をしています。
	調査実施数（内部調査，実証研究調査，新規・改善事業調査）	2回	2回 （フレイル予防のアンケート調査・職員対象に事業提案募集）
評価等	実践活動報告数は目標値に達しませんでした。		

フレイル予防のアンケート調査については、公社で総合事業通所型市基準サービス（市基準）を開始し、継続的にデータの蓄積ができています。外部のデータ分析機関を活用し、その集計をすることができました。これについては、ホームページでも公開を予定しています。令和3年度もこれを活用し、分析方法を工夫して公表を検討していきます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行に伴い実践活動報告場はありませんでした。

取組	内 容
実践活動報告	コロナウイルス感染症流行に伴い活動報告の場はありませんでした。 フレイル予防アンケート調査結果については、ホームページで公表を予定しています。
関係協議会等への参加	公社事業の実践活動を生かし、調布市内・外の医療・福祉・介護に関する32協議会等に参画しました。

（6）健全な公社運営

ア 法人運営及び組織体制の強化・充実

これまで慢性的な人材不足により欠員が多く見られていましたが、職員採用により部分的に欠員が解消されつつあります。主任ケアマネジャーについては、内部からの育成や新規採用により3名確保し、令和3年度からの特定事業所加算の取得に向けた体制を整えることができました。

働き方改革への対応については、次世代育成支援対策推進行動計画に基づき対策を進めました。また、同一労働同一賃金（均衡均等待遇の実現）への対応として職層・職種毎の「職務記述書」の作成に着手し、専門家の指導のもと取組を行いました。

地域包括支援センター事業では、令和3年4月からのサブセンターの設置に向けた準備・対応を行いました。

		目標値 令和2年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	労働安全衛生に関する研修実施	2回	①9月30日(水)「ハラスメント防止研修(管理職向け)」実施, 参加者13人 ②10月12日(月)「ハラスメント防止研修(一般職向け)」実施, 参加者17名
	年次有給休暇の取得促進	60%	71.6% ○付与(時間・日数)に対して50%以上消化できた職員の割合 ・正規職員14/28人 50.0%(令和2年1月付与から1年間) ・非常勤職員59/74人 79.7%(令和2年4月付与から1年間)
	全職員の所定外労働時間(年間)	10,000時間	4,181時間 次世代育成支援対策推進行動計画に基づき, ノー残業デー等の取組を推進しました。
	主任ケアマネジャーの人数	3人	3人 人材育成や新規採用を積極的に進めました。
	全職員の外部研修参加割合	50%	47.5% (48人参加/全職員101人中)
	評価等	<p>働き方改革の意識浸透に努め, 年次有給休暇の取得促進や所定外労働時間の縮減については目標を達成することができました。</p> <p>主任ケアマネジャーの人数については, 内部人材の育成や外部からの採用を進め体制強化を図ることができました。</p> <p>外部研修への参加については, 緊急事態宣言下において参加制限を行った影響もあり目標を達成できませんでした。</p>	

区分	内容
会員・ボランティア基盤の拡充	機関紙ほっとらいん紙面カラー, 郵便局封筒広告の設置により広報(PR)を強化しました。
PDC Aマネジメントサイクル構築	事業進捗状況確認シート・月次損益推移表等を作成し, 経過や状況等の把握に努めたほか, 適宜理事会等に報告を行いました。

制度改正などへの対応・検討	研修・会議等への参加を通して、情報収集を行い、必要な対応について協議・検討しました。
労務管理体制の強化	衛生委員会・職員会議等を通して有給休暇の取得推進、時間外労働の縮減の啓発を行いました。
専門資格の取得の促進	自身の業務やキャリア形成に生かすことができる資格取得・外部研修等の活用を促しました。
将来を担える職員の育成	管理職を対象に人事評価制度を導入し、個別面談を実施しました。より良い人事評価制度構築のため、専門家（社会保険労務士）を交え協議を重ねました。
財務会計システムリニューアル	新財務会計システムが円滑に機能するようシステムの習熟に努めました。
危機管理（リスクマネジメント）の強化	災害時の連携を図るため、調布市と協定を締結しました。新型コロナウイルス感染症対策としてPCR検査の実施、感染防止徹底宣言ステッカーの掲示等感染防止に向けた様々な対応・取組を行いました。

イ 自主的、自立的経営に向けた財政基盤の強化

自主3事業（訪問介護・居宅介護支援・通所介護）においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大変厳しい事業運営を強いられましたが、感染症対策を徹底し利用者の確保に努め、費用の適正化などを進めた結果、決算は小幅な赤字となりました。

新型コロナウイルス感染症の今後の動向について、経営・事業などに与える影響を精査し最小限に抑えていくことが必要であり、経営・事業運営を正常化していくことが課題です。

	項目	目標値 令和2年度	実績
第2次中期 計画 目標・成果 指標	自主事業の収支 (3事業合計)	収支均衡(±0)	-28万1,773円
	モニタリングシート対策達成率	70%	訪問介護 72.9% ・居宅介護支援 68.1% ・ぷちぽあん 61.1%
	賛助会員数	240人	241人 (内訳 個人235人、6団体)
評価等	<p>自主事業の収支について、居宅介護支援事業は、人員体制強化による人件費の増加が響き赤字となりました。訪問介護事業（障害者訪問介護含む）・デイサービスぷちぽあん事業については、減収となったものの黒字を確保することができました。</p> <p>モニタリングシート対策達成率については、居宅介護支援・ぷちぽあん2事業で目標未達となりました。新型コロナウイルス感</p>		

	<p>感染症の影響など様々な課題がある中で、これらを見据えた目標設定・目標管理が課題です。</p> <p>賛助会員数は、目標を達成しました。今年度は、初めての取組として郵便局封筒広告の設置を行いました。今後も広く市民・関係機関に対して住民参加型事業への理解を深めていく取組が必要となります。</p>
--	---

区 分	内 容
モニタリングシートの活用	毎月の目標設定、収支確認。目標値とのかい離要因分析に努めました。
寄付金収入の拡充	市民・利用者・家族等に対して、公社の取組をより知っていただくため、機関紙ほっとらいんをカラー化し、分かりやすい紙面づくりに努めました。
賛助会員の拡充	広報紙ゆうあい（令和2年12月1日発行）で、事業活動紹介や賛助会員募集を行いました。

5 その他の報告事項

(1) 役員等及び会議に関する事項

ア 役員等名簿（令和3年3月31日現在）

(a) 理事・監事

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
理事長	花角美智子	理事	西田伸一	理事	中里繁夫
副理事長	山口征子	理事	橋本郁子	監事	老川多加子
常務理事	塚本栄	理事	泰山涼子	監事	加瀬亜里

(b) 評議員

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
小川時雄	小西健博	宇治和子	荻本末子
荒井敏	古屋育子	田中晶子	野澤薫

イ 会議の開催

(a) 理事会

開催年月日	件 名	結果
令和2年4月1日 (第1回臨時・書面)	<ul style="list-style-type: none"> ・常務理事の選定について ・事務局長の選任について 	可決 可決
令和2年5月15日	・専決処分の承認について（令和元年度収支補正予算書第2号）	承認

<p>(第1回定時・書面)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の承認について（指定訪問介護事業（介護予防訪問介護事業）運営規程の改正） ・専決処分の承認について（指定居宅介護，重度訪問介護事業所運営規程の改正） ・専決処分の承認について（国領高齢者在宅サービスセンター（認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応通所介護）運営規程の改正） ・専決処分の承認について（居宅介護支援事業（介護予防支援事業及び調布市介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント事業）運営規程の改正） ・施設管理規程の改正（案）について ・介護職員処遇改善加算に関する取扱規程（案）について ・令和元年度事業報告（案）について ・令和元年度収支決算（案）について ・理事候補者の選任について ・監事候補者の選任について ・評議員候補者の選任について ・令和2年度定時評議員会（決議の省略）の開催について 	<p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
<p>令和2年5月20日 (第2回臨時・書面)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定について ・副理事長の選定について ・常務理事の選定について 	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
<p>令和2年9月10日 (第2回定時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の承認について（指定介護予防支援事業所運営規程の改正） ・指定介護予防支援事業所運営規程の改正（案）について ・新型コロナウイルス感染症の感染リスクがある中での協力会員活動に対する謝礼について ・令和2年度第1回臨時評議員会の招集について ・理事長及び常務理事の職務の執行状況について ・令和元年度下半期苦情解決状況について 	<p>承認</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>報告</p> <p>報告</p>
<p>令和2年11月19日 (第3回臨時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の承認について（職員就業規則の改正） ・特定費用準備資金等取扱規程の制定（案）について 	<p>承認</p> <p>可決</p>
<p>令和3年1月22日 (第3回定時・書面)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の承認について（収支補正予算書（第1号）について） ・専決処分の承認について（収支補正予算書（第2号）について） ・専決処分の承認について（指定介護予防支援事業所運営規程の改正） ・ホームヘルパー就業規則の改正（案）について 	<p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>可決</p>

<p>令和3年3月12日 (第4回定時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルパー就業規則の改正(案)について ・嘱託職員等就業規則の改正(案)について ・退職慰労金規程の改正(案)について ・介護職員処遇改善加算手当に関する取扱規程の改正(案)について ・居宅介護支援事業(介護予防支援事業及び調布市介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント事業)運営規程の改正(案)について ・特定費用準備資金の積立計画(案)について ・第2次中期計画後期修正版(令和3年度～令和5年度)(案)について ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度収支予算(案)について ・令和2年度第2回臨時評議員会の招集について ・理事長及び常務理事の職務の執行状況について ・令和2年度決算見込(自主事業)について 	<p>可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 報告 報告</p>
------------------------------	--	---

※「承認」は専決処分に係る案件

(b) 評議員会

開催年月日	件名	結果
<p>令和2年5月20日 (定時・書面)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算について ・理事の選任について ・監事の選任について ・評議員の選任について 	<p>可決 可決 可決 可決 可決</p>
<p>令和2年10月1日 (第1回臨時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事の職務の執行状況について 	<p>報告</p>
<p>令和3年3月25日 (第2回臨時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次中期計画後期修正版(令和3年度～令和5年度)について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について ・令和2年度決算見込(自主事業)について 	<p>報告 報告 報告 報告</p>

(2) 公社外部委員会等一覧表及び実習生受入実績

ア 公社外部委員会等一覧表

1	調布地域精神保健福祉ネットワーク連絡会
2	調布市地域福祉推進会議

3	調布市相談支援包括化推進会議（本会議／部会）
4	調布市高齢者福祉推進協議会
5	「調布市見守りネットワーク事業」関係団体ネットワーク会議Bゾーン
6	調布市認知症連携会議
7	認知症対応型通所介護事業所連絡会
8	調布市養護老人ホーム入所判定委員会
9	介護支援専門員調布連絡協議会
10	調布市介護保険認定審査会（委員）
11	調布市障害支援区分判定審査会
12	調布市障害者地域自立支援協議会
13	調布市健康危機管理対策本部連絡会
14	調布市社会福祉協議会（評議員）
15	調布市高次脳機能障害者支援機関連絡会
16	調布市福祉人材研修センター運営委員会（委員）
17	介護保険サービス事業者調布連絡協議会（役員／委員）
18	社会福祉法人くすのき会（評議員）
19	調布市高齢者救急業務連絡協議会（役員）
20	調布消防署住宅防火等推進協議会（役員）
21	地域密着型サービス運営推進会議（ケアホーム希望）
22	地域密着型サービス運営推進会議（調布八雲苑）
23	こくりょうみんなの広場（国領小学校地区協議会）運営委員会
24	くすのき商店会
25	全国食支援活動協力会
26	調布市食事サービス連絡会
27	東京都社会福祉協議会住民参加型たすけあい活動部会（役員）
28	東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会（会員）
29	調布市地域連携会

イ 実習生受入実績（介護職員初任者研修・社会福祉士・看護師）

学校名等	実習名	日程	日数	人数
調布市社会福祉協議会	介護職員初任者研修	10/19～11/6	1日	5人
法政大学現代福祉学部	ソーシャルワーク実習	8/3～9/4	24日	1人
東京学芸大学教育学部	ソーシャルワーク実習	9/7～10/12	24日	1人
杏林大学保健学部	公衆衛生看護学実習Ⅰ	9/2～9/3	2日	2人
東京慈恵会医科大学医学部看護学科	地域連携実習	2/16～2/17	2日	2人
		合計	53日	11人

（3）職員研修の実績

ア 業務研修

No.	研修日	研修名	主催	会場	研修日数	参加人数	参加日数
1	R2.5.12	人事部の生産性向上に向けたファーストステップ	smart HR	オンライン研修	1	1	1
2	R2.5.14	離職防止に向けた若手社員のレジリエンス強化	ビジネスコンサルタント	オンライン研修	1	1	1
3	R2.5.15	「ざっくり」学ぶ財務諸表	日本数学検定協会	オンライン研修	1	1	1
4	R2.5.19	プロフェッショナル社員を作る方法～「7つの習慣(R)プログラム体験会」～	ジェイック	オンライン研修	1	1	1
5	R2.5.22	論理的思考とフレームワーク活用術を身につけよう	キャノンシステムアンドサポート	オンライン研修	1	1	1

6	R2. 5. 26	良かれと思ったその言動! 積み上げたキャリアが一瞬で!?	キヤノンシステム アンドサポート	オンライン研修	1	1	1
7	R2. 6. 9	「上司にキッパリとモノが言える, 正しい情報が上がる会社にする 3 つの方法」	インプレッション・ラーニング	オンライン研修	1	1	1
8	R2. 6. 9～ R2. 6. 18	論理的文章を書くためのメソッドとは	日本漢字能力検定協会	オンライン研修	1	2	1
9	R2. 6. 18	「With コロナ」の時代に! 現場で戦うための高速マネジメント「OODAループトレーニング」	かんき出版	オンライン研修	1	1	1
10	R2. 6. 22	自分を活かし, 相手を活かすために	グローバル・ビズ・サポート	オンライン研修	1	1	1
11	R2. 6. 25	アンガーマネジメントを活かした効果的な伝え方	かんき出版	オンライン研修	1	1	1
12	R2. 6. 25	実務に生かす KPI 思考	日本数学検定協会	オンライン研修	1	1	1
13	R2. 7. 3	労働法実務口座(入門編)	東京商工会議所	東京商工会議所	1	1	1
14	R2. 7. 6	理事会等の決議の省略の手続きと留意点	全国公益法人協会	一橋大学	1	1	1
15	R2. 7. 8	新人・若手社員のための 5 つのビジネス基礎力強化研修	バーソル総合研究所	オンライン研修	1	2	1
16	R2. 7. 13	令和 2 年度区市町村介護予防事業担当者向け研修 総論編	東京都健康長寿医療センター研究所	エステック情報ビル	1	1	1
17	R2. 7. 13	令和 2 年度区市町村介護予防事業担当者向け研修 総論編, 実践編 I	東京都健康長寿医療センター研究所	エステック情報ビル	5	1	5
18	R2. 7. 15	調布市高齢者在宅福祉サービス説明会	調布市福祉健康部 高齢者支援室	文化会館たづくり	1	5	1
19	R2. 7. 16	4 つのポイントでだけでも上達! プレゼンテーション講座	ボディチェーン・パートナーズ	オンライン研修	1	1	1
20	R2. 7. 16	無料 WEB セミナー人事評価制度運用を人材育成に活かすポイント～人事評価制度を人材マネジメントの強化につなげる～	中部産業連盟	オンライン研修	1	1	1
21	R2. 7. 16	スピードオプトラストプログラム説明会	フランクリンコー ヴィー・ジャパン	フランクリンコー ヴィー・ジャパン セミナールーム	1	1	1
22	R2. 7. 17	「今, 経営に求められる人事制度」～経営計画達成と外部環境に対応する合理的な人事制度～	トランストラクチャ	オンライン研修	1	1	1
23	R2. 7. 21	研修で習得した知識・技能を実践に生かすにはどうすればよいのか? 「脳科学」の視点からこの問題への対応をご紹介します	トヨタエンタプライズ	オンライン研修	1	1	1
24	R2. 7. 28	令和 2 年度ホームタウン共創力アップ・プログラム 公開講座地域包括ケアにおける地域づくりの進め方～地域のつながりを守り, 活動の継続力を高めるために～	東京都福祉保健局	オンライン研修	2	2	2
25	R2. 7. 29	「職場で意思疎通ができない人がいる!」その悩み, 言葉の選び方で解決できます『ことのは入門講座』	コラボプラン	オンライン研修	1	1	1
26	R2. 8. 4	高水準企業の事例から学ぶ社員エンゲージメント向上の本質	コーン・フェリー セミナー事務局	オンライン研修	1	1	1
27	R2. 8. 5	企業ボランティア講師による講義, ワークショップ, 交流会	東京ボランティア・市民活動センター	オンライン研修	1	1	1
28	R2. 8. 19	介護支援専門員再研修	東京都福祉保健財団 人材養成部	東京都福祉保健財団	6	1	3
29	R2. 8. 25	令和 2 年度 第 3 回認知症対応型サービス事業管理者研修	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保健医療研修センター	2	1	2
30	R2. 9. 4	令和 2 年度区市町村介護予防事業担当者向け研修 介護予防・フレイル予防推進員研修	東京都健康長寿医療センター研究所	エステック情報ビル	5	1	5
31	R2. 9. 15	福祉用具サービス業務従事者講習会「高齢者のための環境整備」のご案内	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	1	2	1
32	R2. 9. 16	2019 年度東京都介護支援専門員 専門研修課程 II (2 期)	総合健康推進財団	ゆまにビルディング	2	1	2
33	R2. 9. 17	令和 2 年度 第 1 期東京都介護支援専門員研修課程 I	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団他	7	1	7
34	R2. 9. 23	令和 2 年度住民参加型たすけあい活動部会コーディネーター学習会 科目 2 アセスメントやモニタリングの重要性とケース記録の取り方 科目 5 認知症の本人・家族に寄り添ったかわり方	東京都社会福祉協議会地域福祉部	飯田橋セントラルプラザ他	2	1	2
35	R2. 9. 23	令和 2 年度住民参加型たすけあい活動部会科目 1, 2, 5	東京都社会福祉協議会地域福祉部	オンライン研修	3	1	3

36	R2.9.24	令和2年度「養護者による高齢者虐待対応研修(基礎研修 第2回目)」	東京都福祉保健局 高齢社会対策部	あいおいニッセイ 同和損保新宿ビル 他	3	1	3
37	R2.10.5	令和2年度福祉事業所の為の研修体系確立・ 推薦研修	東京都社会福祉協 議会東京都福祉人 材センター研修室	東京都社会福祉保 健医療研修センタ ー	2	1	2
38	R2.10.13	「多世帯を見渡せるアセスメント力」を身 につけよう	ケアマネット	市民プラザあくろ す	1	1	1
39	R2.10.19	令和2年度栄養管理講習会	多摩府中保健所	多摩府中保健所	1	1	1
40	R2.10.20	管理職・施設長研修	調布市社会福祉協 議会	調布市こころの健 康支援センター	1	1	1
41	R2.10.22	令和2年度 支えあいを広げる住民主体の 生活支援フォーラム	全国社会福祉協議 会	オンライン研修	1	1	1
42	R2.11.8	令和2年度自立支援・介護予防に向けた地域 ケア会議 実践者養成研修事業	東京都福祉保健財 団	ベルサール新宿グ ランド	2	1	2
43	R2.11.10	多職種研修「地域で支えあおう 新型コロ ナウイルス感染症」	調布市医師会地域 医療部運営	オンライン研修	1	7	1
44	R2.11.13	高齢者虐待の防止について支援者として知 っておきたいこと基礎編	調布市地域包括支 援センター	市民プラザあくろ す	1	6	1
45	R2.11.19	普通救命講習	調布市高齢者救急 業務連絡協議会	調布市消防署	1	2	1
46	R2.11.19	高齢者の食環境整備事業	東京都栄養士会	ワイルド会議室四 谷三丁目	2	1	2
47	R2.11.22	2020 食フェスタ	全国食支援活動協 力会	オンライン研修	1	1	1
48	R2.11.28	主任介護支援専門員研修	東京都介護支援専 門員研究協議会	多摩永山情報教育 センター他	12	1	2
49	R2.11.30	令和2年度住民参加型たすけあい活動部会 コーディネーター学習会科目1 住民参加 の理念とコーディネーターに求められる役 割・視点	東京都社会福祉協 議会地域福祉部	オンライン研修	1	1	1
50	R2.12.1	令和2年度安全運転管理者講習	東京都交通安全協 会	オリンパスホール 八王子	1	1	1
51	R2.12.14	高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健局 高齢社会対策部在 宅支援課	ルネこだいら	1	1	1
52	R2.12.25	①PCA 年末調整セミナー	PCA	オンライン研修	1	1	1
53	R3.1.6	②年末調整実践塾	PCA	オンライン研修	1	1	1
54	R3.1.13	令和2年度 第2回若年性認知症相談支援研 修	東京都若年性認知 症総合支援センタ ー	YouTube 視聴	2	1	2
55	R3.1.17	令和2年度家族介護を考えるついで「介護 者支援でつながろう」	東京ボランティア・市民活動セン ター	オンライン研修	1	1	1
56	R3.1.25	令和2年度住民参加型たすけあい活動部会 第2回総会並びに情報交換会	東京都社会福祉協 議会	オンライン研修	1	1	1
57	R3.1.28	介護報酬請求事務に関する研修会(応用編)	東京都社会福祉協 議会	オンライン研修	1	1	1
58	R3.1.28	職場の生産性と働きがいを高める「時間の 構造化理論」を学ぶ	東京都社会福祉協 議会	オンライン研修	1	1	1
59	R3.1.29	高次脳機能障害のある方を支援するための 応用知識～受傷から回復までの制度と資源 を知る～	調布市社会福祉協 議会障害者地域活 動支援センタード ルチェ	オンライン研修	1	4	1
60	R3.1.30～ R3.2.16	離職者ゼロに向けた職場の問題解決と課題 形成	東京都福祉人材セ ンター研修室	オンライン研修	1	2	1
61	R3.1.31～ R3.2.15	令和2年度福祉職員定着・育成セミナー信 頼関係を深めやる気を促す育成面談	東京都社会福祉協 議会	オンライン研修	1	8	1
62	R3.2.6	令和2年度認知症初期集中支援チーム員研 修 第5回	東京都福祉保健局 高齢社会対策部在 宅支援課	ベルサール汐留	2	1	2
63	R3.2.9	第2回調布市高齢者在宅福祉サービス説明 会	調布市福祉健康部 高齢者支援室	文化会館たづくり	1	1	1
64	R3.2.17	『こころの健康支援センターってどんなと ころ?』	東部エリアケアマ ネット	仙川ふれあいの家	1	2	1
65	R3.2.19	企業向けセミナー障害者雇用 新たな一歩	調布市就労支援実 務者会議	オンライン研修	1	2	1
66	R3.2.19	機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評 価	東京都社会福祉協 議会	オンライン研修	1	1	1
67	R3.2.22	「若年性認知症の本人の通いの場をつくる ガイドブック」事業者向け説明会	東京都福祉保健局 高齢社会対策部	オンライン研修	1	3	1
68	R3.3.2	「調布 de ステイローカル」セミナー	調布市高齢者支援 室高齢福祉担当	オンライン研修	1	2	1
69	R3.3.4	人事労務管理セミナー	公益法人協会	仏教伝道センター ビル	1	1	1

70	R3.3.6	令和3年度介護報酬改定に向けて	東京都介護支援専門員研究協議会	オンライン研修	1	3	1
71	R3.3.26	次期介護報酬改正と介護支援専門員がすべきこと,求められていること	介護支援専門員調布連絡協議会	オンライン研修	1	3	1

イ 社内研修

No.	研修日	研修名	主催	会場	研修日数	参加人数	参加日数
1	R2.9.30	介護事業者向けワンポイントセミナー ハラスメント防止研修～明るく働きやすい職場作りのために～	公社	公社	1	13	1
2	R2.10.12	介護事業者向けワンポイントセミナー ハラスメント防止研修～心理学の観点から～	公社	公社	1	17	1
3	R3.2.16	福祉サービス職員に必要な組織性の理解とコミュニケーション	公社	公社	1	35	1

(4) 事業報告書附属明細書について

該当なし